

術後にブーシナク持続気道陽圧装置の使用で 低酸素血症が改善した 1 症例

岩下 耕平 濱田 孝光 岩切 重憲
香取 清 仁田原慶一 比嘉 和夫

福岡大学医学部麻酔科学

要旨：術後にブーシナク持続気道陽圧（B-CPAP）装置を使用して低酸素血症が改善した症例を報告する。72歳の男性で、閉塞性動脈硬化症で大腿切断術が施行された。術後、酸素 10L/分のマスク投与で SpO₂ は91%であった。B-CPAP 装置で持続気道陽圧 5cmH₂O を開始し、1 分後に SpO₂ は100%となった。B-CPAP 装置を 1 時間使用した。B-CPAP 中止後の SpO₂ は、酸素 10L/分で97%で経過し、その後 SpO₂ は低下しなかった。

キーワード：ブーシナク持続気道陽圧，無気肺，全身麻酔